

「子供の森」計画

in マレーシア



「子供の森」計画積極展開地域：サバ州



2012年の活動と2013年の展望

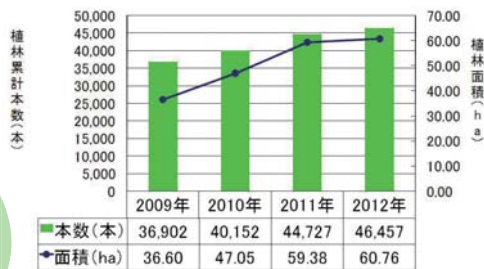
子どもたちの「自然を愛する心」を育みながら地球緑化を進める「子供の森」計画。マレーシアでは、世界的にも貴重な生物多様性に優れ希少動植物の宝庫として知られているボルネオ島の北東端サバ州を中心に、子どもたちの植林活動支援や環境教育を実施しています。校庭や学校の近くの土地へ行う植林活動は学校単位で活動ができるため、高学年の児童が低学年の児童に木の植え方を指導する姿もみられ、地域のリーダー育成への第一歩ともなっています。

近年マレーシアでは、学校での活動に加え、セミナーやエコキャンプといった複数の学校の合同活動も年に数回実施し

ています。子どもたちはともに植林活動や、地域の生物多様性に関する学習、「つみ木」を使ったワークショップなど、多くの経験を共有し、また意見を交換しあっています。乱開発などにより生態系サービスが著しく低下してしまっている同地域ですが、自然を守りたい、大切に育みたいという想いを同じくした多くの子どもたちの活動の輪が広がり、地域の森を守り再生できるよう、これからも活動を進めていきます。

2012年植林実績：植林 1,730 本・面積 1.384 ha
「子供の森」計画参加学校数：159 校（1992年からの累計値）

2012年までの植林実績



マレーシア

- ◆人口：28.553百万人
(2012年IMF推計値 日本は127.896百万人)
- ◆面積：330,803km²
(総務省統計局資料2010年値 日本は377,950km²)
- ◆一人当たりGDP：10,084.608US\$
(2012年10月IMF試算値 日本は45,869.72US\$)
- ◆森林率：62%
(2010年FAO公表値 日本は69%)

マレーシアの活動を支援して下さる方を募集しています。ご支援や各地域の子どもたちの活動の様子はこちらから

ベルマークや書き損じはがきも募集しています。
ベルマークは1点1円として「子供の森」計画の支援となります。事務局までお送りください。

「子供の森」計画情報提供サイト
www.kodomonono-mori.info



事務局



〒168-0063 東京都杉並区和泉3-6-12
☎(03)3322-5161 ☎(03)3324-7111
<http://www.oisca.org/>

E-mail oisca@oisca.org



森と遊ぼう!

オイスカの研修センターの近くにあるパグオカン小学校は、マレーシアで「子供の森」計画が始まった1992年から活動を続けています。20年もの間、毎年地道に先生や子どもたちが協力して木を植え、手入れをし続けた結果、今では素晴らしい森へと成長し、子どもたちのお気に入りの遊び場となっています。

2012年には、森遊びを通じて環境を守る大切さを子ども



ターザンロープに大はしゃぎ

たちに知ってもらおうと「森と遊ぼう!」というイベントを開催し、約120名の子どもに加え、30名の先生や地元の教育省関係者なども参加しました。イベントでは、自然に親しむネイチャーゲームや、木と

木の間にロープを渡して滑車で滑り下りるターザンロープなど様々な森遊びで子どもたちは大はしゃぎ。また木の端材でつくったつみ木で理想の村をつくるなど、木の香りとぬくもりに包まれながらのワークショップも行いました。

今回の森と遊ぶイベントで、自然の中で遊ぶことの楽しさや環境保護の意味を知った子どもたちは、これからも森を大切に守り育てて、次の世代へと引き継いでいくことでしょ



みんなで一つの大きな作品をつくりました



自然の大切さについて真剣に学ぶ子どもたち



「子供の森」計画、活動の第一歩!

ケニンガウ市にあるラナス小学校は、2012年に「子供の森」計画の活動を始めました。初めての活動は「子供の森」計画コーディネーターの指導のもと、120人の子どもたち、15人のPTA役員が参加しました。今回の植樹用に選ばれた木は、学校の敷地内にしっかり根付くようにと地域の在来種3種類の木が選ばれ、子どもたちの手で丁寧に植えられました。

さらに今回植えた木を子どもたちが責任を持って育てられるようにと、植樹の後には、周りの自然を学ぶネイチャー・ツアーを開催。ツアーは、子どもたちが植物や動物の名前を覚えながら、環境保護や動植物の大切さを気づくよう進められました。さらに、木がきちんと育つような自然環境を守るためにも、ごみを分別して捨てることの大切さについても子どもたちと話し合いました。「子供の

森」計画の活動を始めたばかりの子どもたち。これからの活動を通じて、環境を守ることの大切さや森の役割などをさらに学んでいくことでしょ



先生と一緒に木を植える子どもたち



お水もしっかり!
これからも続けていきます

TOPICS

日本国内での「森のつみ木広場」

マレーシア・パグオカン小学校で実施したつみ木のプログラムは、オイスカが日本全国で開催(2011年度は全国113ヵ所で開催)している「森のつみ木広場」を参考に実施しました。日本での「森のつみ木広場」は、近年の林業衰退に伴い日本の人工林の手入れがされず荒廃が進んでいるため、子どもたちにつみ木遊びを通じて木や森に興味を持ってもらい、間伐材の有効利用や国産材の利用についての意識啓発のプログラムとして実施しています。

参加した子どもたちは協力しあい大きな作品を作る喜びや達成感を感じると共に、紙芝居によって日本の森林の現状や森の大切さを学んでいます。詳しくはホームページをご覧ください。www.morinotsumiki.com



「森のつみ木広場」は子どもたちの協調性や創造力も育てます